

脱炭素社会における産業競争力強化特別委員会の概要

1 趣 旨

政府が「2050年カーボンニュートラル」を表明して以降、GX（グリーントランスフォーメーション）に係る法整備や様々な支援策が講じられるなど、脱炭素、経済成長、エネルギー安定供給確保の3つを同時に実現していくことを基本方針としたGX推進の動きが活発化している。

全国有数の工業県である本県はその影響を大きく受けることから、本県議会は令和3年7月以降、2つの産業脱炭素化に関する政策特別委員会を設置し、脱炭素化を原動力とした本県産業の成長・発展に向けた取組を中心に調査研究・政策提言を実施してきており、県では、令和5年3月に「やまぐち産業脱炭素化戦略」を策定し、令和12年度を区切りとして取組を進めているところである。

一方で、脱炭素化に向けた環境は刻々と変化しており、国際紛争に起因する燃料価格の高騰や不安定さを増す国際情勢、脱炭素化に必要な技術革新やコスト変動等、将来の見通しに対する不確実性が高まっていることから、これら変化がもたらす本県産業への影響や課題を継続的に把握しながら、取組を着実に進めていく必要がある。

このため、本県議会としても、「やまぐち産業脱炭素化戦略」が折り返しを迎えた令和9年度以降の取組の充実に向けて、これまでの特別委員会の活動を引き継ぎながら、本県が目指す脱炭素社会における産業競争力の強化に向けた新たな課題や対応方策について調査研究を進め、政策提言やフォローアップを行う。

2 審査方法

執行部及び参考人から、脱炭素社会における産業競争力強化に係る国の動向や県の取組状況等について情報収集・意見交換等を行った上で、県内企業等において調査視察等を行い、それらをもとに国や県等において講じるべき対応策等について委員間で協議・検討を重ね、取りまとめた政策提言を執行部に提出する。

〔 委員会 … 参考人意見聴取、執行部施策説明、委員検討協議
視察等 … 県内企業等
提案書 … 執行部への政策提言 〕

3 審査項目

令和7年7月4日 委員会設置

令和8年12月定例会 委員長報告を予定

4 委員名簿

別紙1のとおり

5 審査項目

別紙2のとおり

6 委員会開催状況

- 令和7年8月27日
 - ・ 審査方針の決定
 - ・ 執行部説明・質疑

- 令和7年12月11日
 - ・ 執行部説明・質疑
 - ・ 参考人意見聴取

- 令和8年2月17日、18日
 - ・ 企業等調査（企業等視察）

脱炭素社会における産業競争力強化特別委員会

委員名簿

令和7年(2025年)7月4日設置

委員長	森	繁	哲	也
副委員長	磯	部	登	志 恵
委員	岡		生	子
〃	牛	見		航
〃	山	手	康	弘
〃	友	広		巖
〃	坂	本	心	次
〃	国	本	卓	也
〃	猶	野		克
〃	上	岡	康	彦
〃	酒	本	哲	也
〃	木	佐 木	大	助
〃	松	浦	多	紋

脱炭素社会における産業競争力強化特別委員会 審査項目

(1) 「やまぐち産業脱炭素化戦略」に基づく県の取組・課題

- ① カーボンニュートラルコンビナートの実現
- ② 自動車関連産業の持続的な発展
- ③ 環境・エネルギー関連産業の振興
- ④ 「選ばれる企業」への成長促進・関連産業の振興
- ⑤ 農林水産業の推進

(2) 海外の動向や国の目指す方向性・取組と県内産業への影響等

- ① G X 推進法、水素社会推進法
- ② G X 2040 ビジョン、地球温暖化対策計画、循環型社会形成推進基本計画等

(3) 2050年カーボンニュートラルに向けた産業界の取組・課題

- ① 脱炭素化を契機とした、経済成長に向けた取組の推進
- ② 温室効果ガス排出削減に向けた取組の推進
- ③ エネルギーの安定供給確保に向けた取組の推進